

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

小学校第6学年と、中学校第3学年を対象として実施される、全国学力・学習状況調査は、今年度で10年目を迎えました。調査が開始された当初、網走市の子どもたちは、全国の平均正答率を10ポイント以上下回る教科がありましたが、全国との差は年々縮まっております。

しかし、改善の傾向は見られるものの、今年度は全ての教科で全国平均に届いていない状況にあることから、教育委員会、学校、家庭、地域が連携した取組を進め、網走市の子どもたちの力をより一層発揮させる必要があると受け止めています。

網走市教育委員会として、学力の課題やこれまでの取組の成果を学校、家庭、地域と共有するとともに、児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けるための取組を充実させるため、網走市学力向上推進委員会とともに分析を行った、市内小・中学校全体の調査結果について、今後の方策とともに公表いたします。

### I. 調査の概要

#### 1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2. 実施日 平成28年4月19日（火）

#### 3. 調査の対象学校と対象学年の児童生徒数【悉皆調査】

小学校 9校（網走小学校、中央小学校、西小学校、南小学校、潮見小学校、東小学校、白鳥台小学校、西が丘小学校、呼人小学校）

中学校 6校（第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校、呼人中学校）

児童生徒数 小学校第6学年 278名 中学校第3学年 314名

#### 4. 調査の内容

##### ①教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題[国語A、算数A・数学A]
- ・主として「活用」に関する問題[国語B、算数B・数学B]

##### ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 2. 結果の概要

### (1) 平成28年度 各教科の平均正答率・平均正答数

小学校	領域	国語A	国語B	算数A	算数B
	問題数	15問	10問	16問	13問
平均正答率(%)	網走	71.6	55.1	74.9	44.7
	道	71.0	56.0	75.3	44.5
	国	72.9	57.8	77.6	47.2
全道との差		0.6	-0.9	-0.4	0.2
全国との差		-1.3	-2.7	-2.7	-2.5
平均正答数(問)	網走	10.7	5.5	12.0	5.8
	道	10.7	5.6	12.0	5.8
	国	10.9	5.8	12.4	6.1
全道との差		0	-0.1	0	0
全国との差		-0.2	-0.3	-0.4	-0.3

中学校	領域	国語A	国語B	数学A	数学B
	問題数	33問	9問	36問	15問
平均正答率(%)	網走	74.3	63.3	57.4	38.4
	道	75.1	65.0	61.8	43.3
	国	75.6	66.5	62.2	44.1
全道との差		-0.8	-1.7	-4.4	-4.9
全国との差		-1.3	-3.2	-4.8	-5.7
平均正答数(問)	網走	24.5	5.7	20.6	5.8
	道	24.8	5.8	22.2	6.5
	国	25	6	22.4	6.6
全道との差		-0.3	-0.1	-1.6	-0.7
全国との差		-0.5	-0.3	-1.8	-0.8

※平均正答率～各教科それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)

### (2) 全国平均正答率との比較

	○ ～ 全国 ■ ～ 北海道 ★ ～ 網走市	小学校				中学校			
		国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
相当高い	7P以上高い								
高い	5P以上7P以下高い								
やや高い	3P以上5P以下高い								
ほぼ同様	1P以上3P以下高い								
同様	1P未満の差	○	○	○	○	○■	○	○■	○■
ほぼ同様	1P以上3P以下低い	■★	■★	■★	■★	★	■		
やや低い	3P以上5P以下低い						★	★	
低い	5P以上7P以下低い								★
相当低い	7P以上低い								

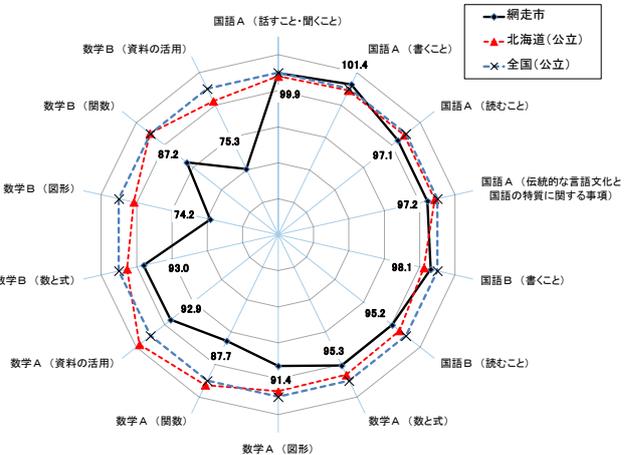
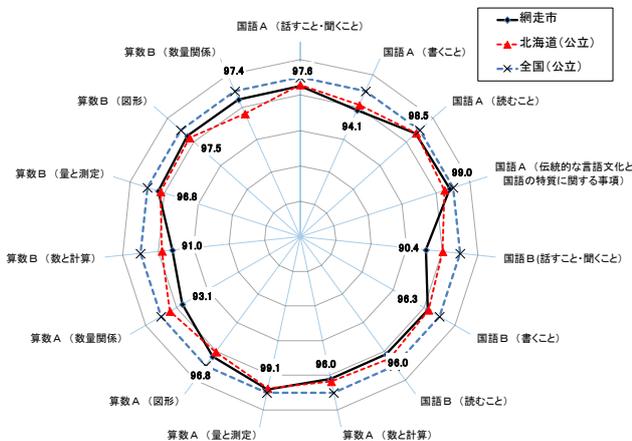
※網走市内の小学校、中学校、各学校の平均正答率は、表の網掛けの範囲に分布しています。

### (3) 各教科領域別の状況(レーダーチャート)

◆小学校◆

◀ 各教科領域別の状況 ▶

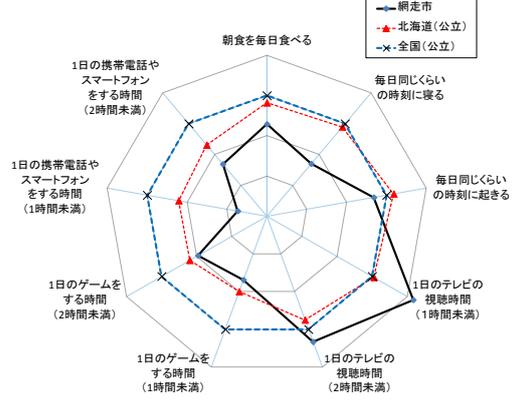
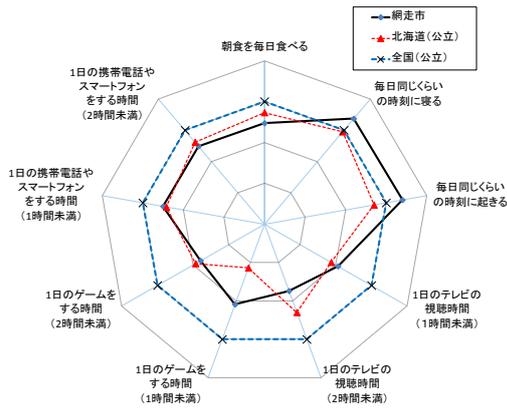
◆中学校◆



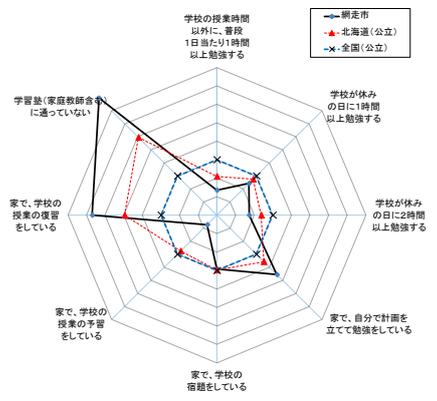
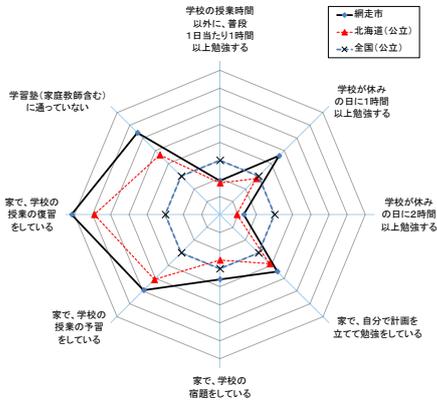
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものと(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

## (4) 児童生徒質問紙調査の状況 (レーダーチャート)

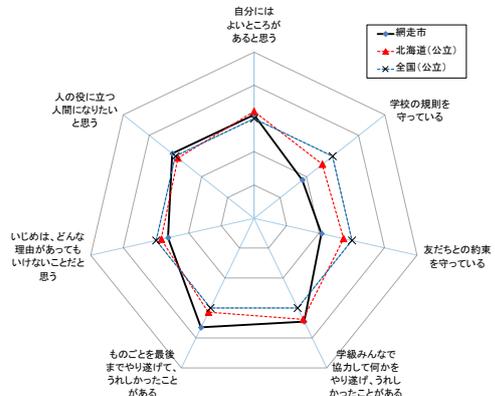
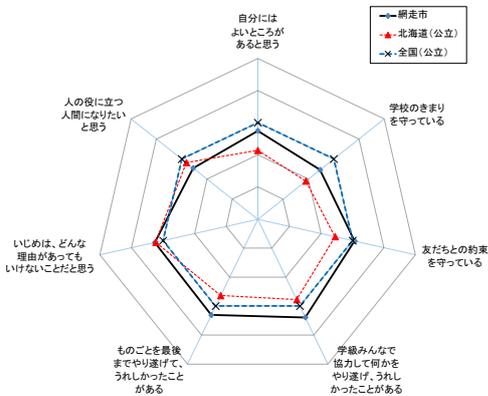
### ◆小学校◆ << 生活習慣 >> ◆中学校◆



### ◆小学校◆ << 学習習慣 >> ◆中学校◆



### ◆小学校◆ << 自尊意識・規範意識 >> ◆中学校◆



### 【 児童生徒質問紙調査に見られる特徴 】

#### <<生活習慣>>

- ・「1日にゲームをする時間が2時間未満」「1日に携帯電話やスマートフォンをする時間が2時間未満」の児童生徒の割合は、全国に比べ少ない。
- ・「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合は、全国に比べやや低い。

#### <<学習習慣>>

- ・「学校の授業時間以外に1時間以上勉強する」児童生徒の割合は、全国に比べやや低い。
- ・「家で学校の授業の復習をする」児童生徒の割合は、全国に比べ高い。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強する」児童生徒の割合は、全国に比べ高い。

#### <<自尊意識・規範意識>>

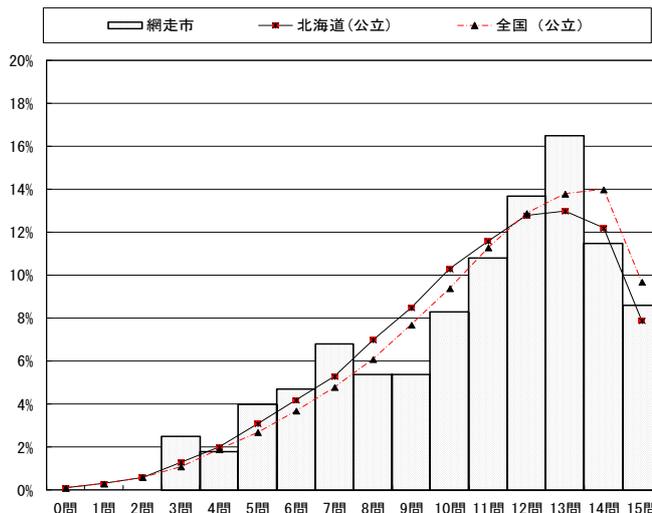
- ・「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合は、全道に比べやや高く、全国とほぼ同様。
- ・「学校のきまり(規則)を守っている」児童生徒の割合は、全国に比べ低い。
- ・「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」児童生徒の割合は、全国に比べ高い。

### 3. 教科に関する調査

#### ○ 小学校国語 A

【国語 A】	平均正答率	平均正答数 (15問中)
網走市	71.6	10.7問
北海道	71.0	10.7問
全国	72.9	10.9問

学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国と同様、「話すこと・聞くこと」「読むこと」が全国とほぼ同様（下位）、「書くこと」が全国よりやや低い。



#### 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式	正答率 (%)				無解答率 (%)			
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力		読む能力	言語についての知識・理解・技能	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)
1-1	漢字を読む (今日は全国的に快讀だ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む・書く				○	○	85.3	6.0	82.8	79.3	4.7	4.2	5.2
1-2,3	漢字を書く (先生にさうだんする)					○	○	68.0	3.8	60.2	64.2	4.7	6.4	5.0
2	全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う		○			○	77.3	-1.9	77.5	79.2	0.0	0.1	0.2
3	ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する	書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する		○			○	60.8	-6.6	62.7	67.4	0.0	0.2	0.2
4	委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、書く事柄を整理する		○			○	76.3	-1.9	76.6	78.2	0.0	0.3	0.3
5	公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する	目的に応じて、図と表とを関係付けて読む		○			○	91.4	-1.7	93.2	93.1	0.0	0.2	0.3
7アイ	毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久)	用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める				○	○	77.0	-4.2	79.7	81.2	0.7	0.9	0.9
8-2	ローマ字を書く(あさって)	平仮名で表記されたものをローマ字で書く				○	○	32.4	-9.4	39.0	41.8	14.0	14.5	13.7

#### 【小学校国語 A のポイント】

- 1 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む
- ▲ 3 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する
- ▲ 5 目的に応じて、図と表とを関係付けて読む
- ▲ 7 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める

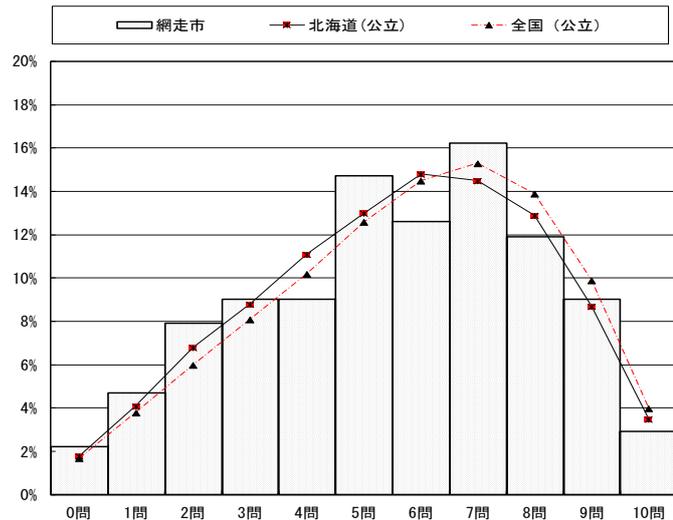
#### ◎ 改善の方策 ◎

- ◆ 目的や意図に応じて、表現をよりよくするために助言し合う
  - ◎ 表現をよりよくするためには、書いたものを読み合い、助言し合うことが必要である。助言する際には視点をもって助言することができるように指導することが大切である。
- ◆ 文字の大きさや配列に対する意識を高める
  - ◎ 書写の学習においては、姿勢や筆記具の持ち方、字形、筆使い、筆順、配列等について、学年の段階に応じて指導することが大切である。また、毛筆を使用する書写においては硬筆による書写の能力の基礎も養うよう指導することが必要である。
- ◆ 目的に応じて、文章と図表やグラフなどとの関係付けて読む
  - ◎ 情報を伝達する機能をもつ文章や図表などの資料から目的に応じて必要な情報を的確に取り出し、文章と図表やグラフなどとの関係付け、的確に読むことができるように指導する

## ○ 小学校国語B

【国語B】	平均正答率	平均正答数 (10問中)
網走市	55.1	5.5問
北海道	56.0	5.6問
全国	57.8	5.8問

学習指導要領の領域別（3領域から出題）では、「書くこと」「読むこと」が全国とほぼ同様（下位）、「話すこと・聞くこと」が全国よりやや低い。



### 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率(%)				無解答率(%)		
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
1二	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	○				○			45.0	-6.1	48.1	51.1	0.7	0.5	0.5
1三	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する	○	○	○			○		44.2	-6.2	47.0	50.4	7.6	9.6	7.8
2一	「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	グラフを基に、分かったことを的確に書く		○			○			39.9	-3.5	41.2	43.4	0.7	1.3	1.2
2二(1)	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く	○	○			○			53.6	2.2	51.3	51.4	4.7	7.6	6.7
2二(2)	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く	○	○			○			61.9	-2.3	62.3	64.2	6.8	8.9	7.7
3二	「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する			○		○			73.7	-4.2	76.6	77.9	3.6	3.6	3.4
3三	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読む	○	○	○		○			51.4	-1.5	50.9	52.9	10.8	12.8	11.5

### 【小学校国語Bのポイント】

- ▲ 1二, 三 インタビューメモを基に、話し手の意図を捉えながら聞いたり、話の展開に沿って質問したりする
- ▲ 2一 グラフを基に、分かったことを的確に書く
- 2二 目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書く
- ▲ 3二, 三 目的に応じて、複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしなが読む

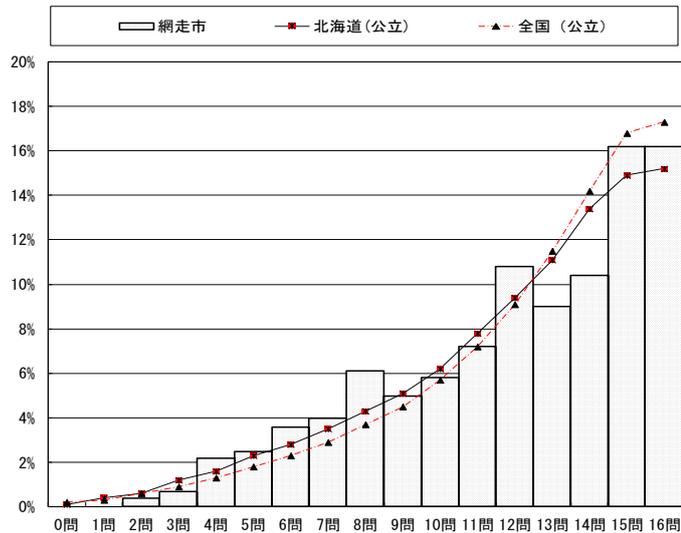
### ◎ 改善の方策 ◎

- ◆ 相手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する
  - ◎ インタビューの目的に応じて、相手の意図は何か、自分の予想との違いは何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞くことができるように指導することが大切である。
- ◆ 目的や意図に応じ、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く
  - ◎ 観察したり、実験したり、調査等を行ったりして得られた結果などの事実を図表やグラフで示し、自分がどのように読み取って分析したのか、そこからどのような考えをもったのかを具体的に記述するような学習が重要である。
- ◆ 目的に応じて、本や文章を効果的に読む
  - ◎ 一方の資料の情報を他の資料に当てはめ、調べる内容を確認めなが読む際、文章中の中心となる語を枠で囲んだり、色分けしたりしながら、複数の資料を関係付けることなど、本や文章を効果的に読むことが必要である。

# ○ 小学校算数A

【算数A】	平均正答率	平均正答数 (16問中)
網走市	74.9	12.0問
北海道	75.3	12.0問
全国	77.6	12.4問

学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「量と測定」が全国と同様、「数と計算」「図形」が全国とほぼ同様（下位）、「数量関係」が全国よりやや低い。



## 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	正答率(%)			無解答率(%)			
						網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
1(1)	□÷○、8の商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している			○	60.4	-4.4	61.1	64.8	1.4	1.2	1.3
1(2)	2.1÷○、7を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している			○	62.2	-6.3	64.6	68.5	0.4	0.4	0.4
2(1)	905-8を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる		○	○	92.8	1.9	90.2	90.9	0.4	0.3	0.4
2(3)	18÷○、9を計算する	小数の除法の計算をすることができる		○	○	73.4	-4.3	72.7	77.7	0.4	1.2	1.1
3(2)	7.1、7.7、7.01の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く	数の大小関係を理解している			○	67.6	-6.5	71.6	74.1	0.7	0.3	0.4
6	4枚の三角定規でつくることができる形を選ぶ	図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる		○	○	80.6	1.0	78.7	79.6	1.1	1.1	1.0
7	直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ	直方体における面と面の位置関係を理解している			○	71.9	-6.1	71.3	78.0	2.2	2.9	2.5
9(1)	前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求めると式と答えを書く	示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる			○	70.5	-9.7	76.8	80.2	5.4	4.7	4.2

## 【小学校算数Aのポイント】

- ▲1 計算の能力を身に付けている（除数の性質、除法における計算の確かめの方法の理解）
- ▲2 整数、小数、分数の計算をする
- ▲3 数の大小関係とその表し方
- ▲9 示された場面を適切に読み取り、場面を式に表す

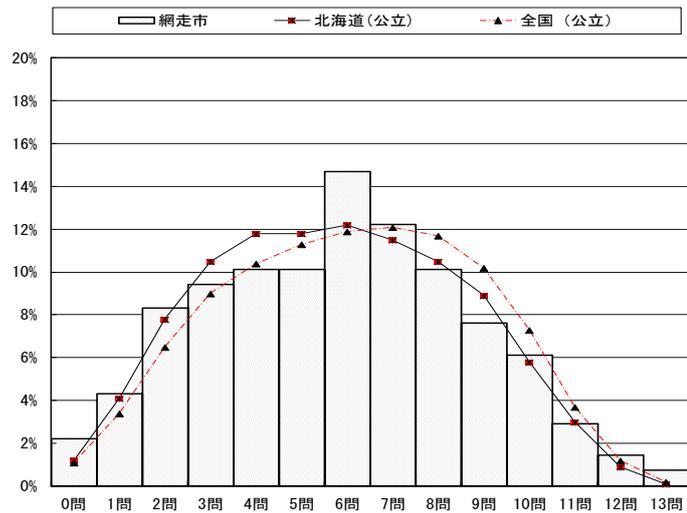
## ◎ 改善の方策 ◎

- ◆計算の結果の見積りや確かめの習慣を身に付けることができるようにする
- ◎目的に応じて計算の結果の見積もりをする場を適宜位置づけ、計算の仕方や結果について振り返って判断できるようにすることが大切である
- ◆計算の性質と計算の仕方とのかわりについて理解できるようにする
- ◎既習の計算を活用して計算の仕方を考えることが大切である。
- ◎分数の計算では、分子と分母の公約数を見いだし、約分できるかどうかを判断することが大切である。
- ◆小数の仕組みと数の相対的な大きさについて理解できるようにする
- ◎小数は整数と同じように十進位取り記数法によって表されているので、小数の大小比較も整数と同じ考え方でできることを理解することが大切である。
- ◆場面を式に表すために、簡単な場面で考えたり、図などに表して捉え直したりして、的確に場面を読み取るようにする。
- ◎日常生活の問題を数学的に解決するためには、式などを用いて場面を数学的に表現する必要がある。その際、場面を的確に捉えることが大切である。

## ○ 小学校算数B

【算数B】	平均正答率	平均正答数 (13問中)
網走市	44.7	5.8問
北海道	44.5	5.8問
全国	47.2	6.1問

学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「図形」が全国と同様、「量と測定」「数量関係」が全国とほぼ同様（下位）、「数と計算」が全国よりやや低い。



### 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点 算数への関心・意欲・態度	観点 算数的な考え方 数量や図形についての技能	問題形式 選択式 短答式 記述式	正答率(%)				無解答率(%)		
						網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
1(1)	1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じまわりが成り立つかを調べることができる	○		○	88.5	-4.1	91.8	92.6	0.4	0.4	0.4
1(2)	正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm <sup>2</sup> 小さくなることの説明を書く	示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる	○		○	38.1	-7.1	40.2	45.2	3.2	4.6	4.0
2(1)	ハードルとハードルの間が5mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところにおけばよいか書く	ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることができる	○		○	53.2	-3.0	50.9	56.2	2.5	3.6	3.1
2(2)	40mハードル走の目標のタイムを求める式に8・1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く	示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる	○		○	46.8	-3.7	46.1	50.5	2.9	4.7	4.2
3(1)	三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ	乗法や除法の式の意味を解釈することができる			○	56.8	-5.8	58.9	62.6	0.7	1.0	1.0
3(2)	縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く	縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できる	○		○	32.7	-5.7	34.1	38.4	18.3	20.2	17.4
3(3)	1辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ	正方形に内接する円の半径について理解している			○	73.7	-2.8	74.5	76.5	3.2	2.2	1.9
4(1)	学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要がある単項を選ぶ	単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる	○		○	52.5	4.2	47.0	48.3	2.5	2.3	1.9

### 【小学校算数Bのポイント】

- ▲1 算数の問題場面で見いだした考えを活用して、条件を変更した場合について発展的に考察する
- ▲2 日常の事象を数理的に捉え、場面を適切な式に表したり、式の意味を具体的な事象と関連づけたりすることで問題を解決する
- ▲3 日常生活の問題の解決のために、乗法や除法の式、図形の性質を用いて判断する

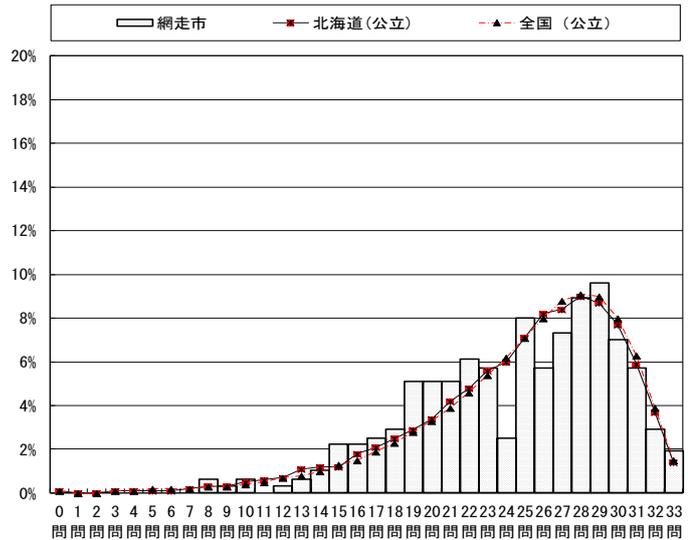
### ◎ 改善の方策 ◎

- ◆考えを事象と関連付けて説明することができるようにする  
◎まわりが成り立つ理由などについて、自分の考えを事象と関連付けて様々な表現を用いて説明する機会を設けることが大切である。
- ◆問題解決のために、適切な数値を当てはめて、式を活用することができるようにする  
◎児童自らが身の回りにある式に興味・関心を持ち、問題の解決のために積極的に指揮を活用できるようにすることが大切である。
- ◆筋道を立てて考えて、判断の根拠を説明したり、説明を振り返ったりすることができるようにする  
◎数量が足りているどうかの判断の根拠を説明する際には、筋道を立てて考えた家庭を明確にして説明することが大切である。また説明する対象が明確になっていることや、根拠について過不足なく説明児童自らが身の回りにある式に興味・関心を持ち、問題の解決のために積極的に指揮を活用できるようにすることが大切である。

# ○ 中学校国語 A

【国語 A】	平均正答率	平均正答数 (33問中)
網走市	74.3	24.5問
北海道	75.1	24.8問
全国	75.6	25.0問

学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「書くこと」が全国とほぼ同様（上位）、「話すこと・聞くこと」が全国と同様、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国とほぼ同様（下位）。



## 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					問題形式				正答率 (%)				無解答率 (%)		
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道 (公立)	全国 (公立)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	
6-1	「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える				○		○				78.0	-3.3	80.5	81.3	0.0	0.3	0.4
6-2	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ				○		○				60.2	-7.1	65.7	67.3	0.3	0.4	0.6
7-1	相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する	話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する	○					○				74.2	3.6	71.5	70.6	0.6	0.4	0.5
7-2	話し合いを踏まえた発言として適切なものを選択する	互いの発言を検討して自分の考えを広げる	○					○				62.1	0.1	60.9	62.0	0.6	0.5	0.6
9-2	漢字を書く（今までにないドクソウ的な考えだ）	文脈に即して漢字を正しく書く						○		○		18.5	-7.6	25.2	26.1	10.8	10.8	11.4
9-3	漢字を書く（家の庭に花をさえる）	文脈に即して漢字を正しく書く						○		○		87.3	-2.6	87.9	89.9	5.7	6.4	5.2
9四ア	漢和辞典の「意味」の中から、「賛美」の「美」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える						○	○			61.1	0.8	62.7	60.3	0.3	1.0	1.0
9四イ	漢和辞典の「意味」の中から、「優美」の「美」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える						○	○			64.3	1.5	64.2	62.8	0.3	1.1	1.0
9五	文章を書き直した意図として適切なものを選択する	文の成分の照応について理解する						○	○			45.5	-5.3	49.8	50.8	1.0	1.3	1.3
9七1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（追ひし）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む						○		○		62.4	-17.8	77.5	80.2	8.9	5.0	4.4

## 【中学校国語 A のポイント】

- ▲ **6二** 文章の構成や展開について自分の考えをもつ
- **7** 話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する
- ▲ **9二、三** 文脈に即して漢字を正しく書く
- **9四** 辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える
- ▲ **9五** 文の成分の照応について理解する
- ▲ **9七** 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む

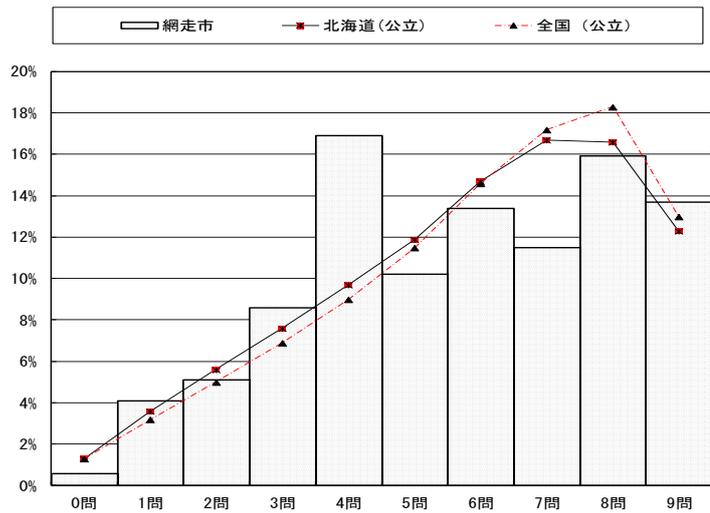
## ◎ 改善の方策 ◎

- ◆ 文章の構成や展開について自分の考えを持つ
- ◎ 説明的な文章を読む際には、書かれている内容を理解するだけでなく、文章の構成や展開、表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果について自分の考えを持つことが大切である。
- ◆ 文の成分の照応についての指導の工夫
- ◎ 主語と述語の照応や修飾語と被修飾語の照応などについては、各領域の学習の中で適宜取り上げることが重要である。
- ◆ 身近な古典に親しむ指導の工夫
- ◎ 古典の学習の際には、小学校での学習を踏まえた上で、音読や朗読を通して古典特有のリズムを味わい、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典への興味・関心を高めることが重要である。

# ○ 中学校国語B

【国語B】	平均正答率	平均正答数 (9問中)
網走市	63.3	5.7問
北海道	65.0	5.8問
全国	66.5	6.0問

学習指導要領の領域別（2領域から出題）では、「書くこと」が全国とほぼ同様（下位）、「読むこと」が全国よりやや低い。



## 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)				
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)
1一	ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるのねらいとして適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的部分を読み分け、要旨を捉える				○				74.2	-2.0	75.4	76.2	0.0	0.1	0.2
1二	関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る					○			80.6	-2.7	82.3	83.3	0.3	0.1	0.2
1三	ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く	○		○			○		67.8	-0.2	65.7	68.0	8.3	10.4	7.8
2一	雑誌の記事の説明として適切なものを選択する	文章の構成を捉える						○		60.8	-4.1	64.3	64.9	0.0	0.2	0.2
2二	情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する						○		57.6	-6.4	62.4	64.0	0.3	0.2	0.3
2三	宇宙エレベーターについて疑問に思ったこと、それを調べるために必要な本の探し方を書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える	○		○			○		54.1	4.9	50.1	49.2	7.6	7.3	6.0
3一	物語の展開に沿って巳之助の様子を並べ替える	文章の展開に即して内容を理解する							○	64.3	-6.8	69.8	71.1	1.6	1.2	1.2
3二	物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る							○	60.5	-4.2	62.1	64.7	1.3	0.6	0.8
3三	図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く	○		○			○		49.7	-8.0	52.5	57.7	29.3	28.5	22.8

## 【中学校国語Bのポイント】

### ▲ 2一, 二

文章の構成を捉える  
目的に応じて文章を要約する

### ▲ 3一, 二

文章の展開に即して内容を理解する  
目的に応じて必要な情報を読み取る  
本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く

## ◎ 改善の方策 ◎

### ◆文章の構成を捉えて内容を理解する

◎説明的な文章を読む際には、全体的な構成を捉えて、文章の内容を理解することが大切である。

### ◆目的に応じて情報を整理し、要約する

◎文章を要約したり要旨を捉えたりする際には、目的や内容に応じて情報を選択して整理することが大切である。

### ◆文章の展開に即して内容を捉える

◎文学的な文章を読む際には、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読むとともに、文章全体に目を向けながら内容を把握することが大切である。

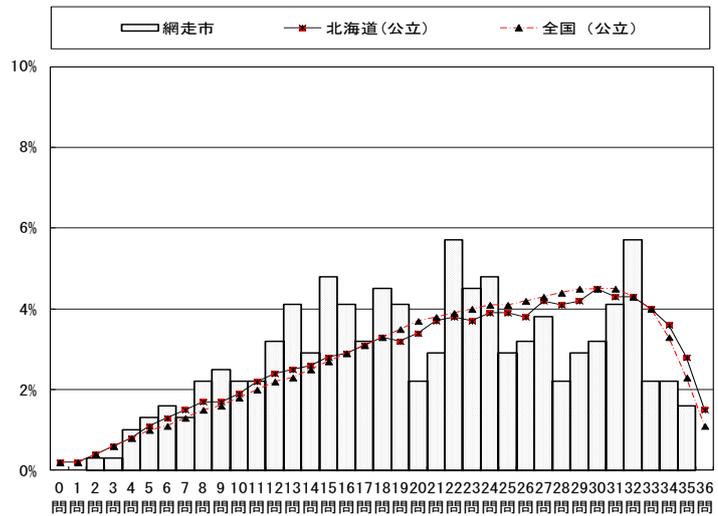
### ◆目的に応じて必要な情報を読み取る

◎現代の社会とは異なる事柄や風習、道具などが描かれている文学的な文章を読む際には、必要に応じて他の資料を活用し、情報を補うことも大切である。

# ○ 中学校数学A

【数学A】	平均 正答率	平均正答数 (36問中)
網走市	57.4	20.6問
北海道	61.8	22.2問
全国	62.2	23.4問

学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「数と式」「資料の活用」が全国よりやや低い、「関数」「図形」が全国より低い。



## 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			
			数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方の技能	知識・理解	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)
5(4)	円柱の体積が600cm <sup>3</sup> のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の1/3であることを理解している			○			○	40.8	-9.1	45.3	49.9	18.2	16.3	14.2
6(2)	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	多角形の外角の和の性質を理解している			○			○	61.1	-8.2	70.6	69.3	1.0	0.7	0.8
7(1)	△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	三角形の合同条件を理解している						○	58.9	-11.9	69.9	70.8	1.0	0.7	0.8
7(3)	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している						○	63.4	-8.9	72.0	72.3	10.5	8.5	7.7
9(3)	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している						○	34.1	-7.9	39.9	42.0	1.6	1.4	1.3
9(4)	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から、xとyの関係を式で表すことができる			○			○	25.8	-8.7	33.2	34.5	17.5	17.0	14.8
10(1)	一次関数の表からグラフを選ぶ	一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している						○	50.3	-11.6	61.9	61.9	2.5	1.6	1.6
11	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる						○	43.0	-10.0	50.2	53.0	22.3	16.8	14.1
12(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる						○	35.4	-10.1	44.3	45.5	22.6	19.2	17.4
12(2)	ある郵便物の重さについて、デジタルばかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の感度を理解している						○	45.5	10.8	48.0	34.7	3.5	2.6	2.5
13(2)	1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5または11のカードをひく確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる						○	68.8	-10.8	75.6	79.6	13.1	10.1	8.5

## 【中学校数学Aのポイント】

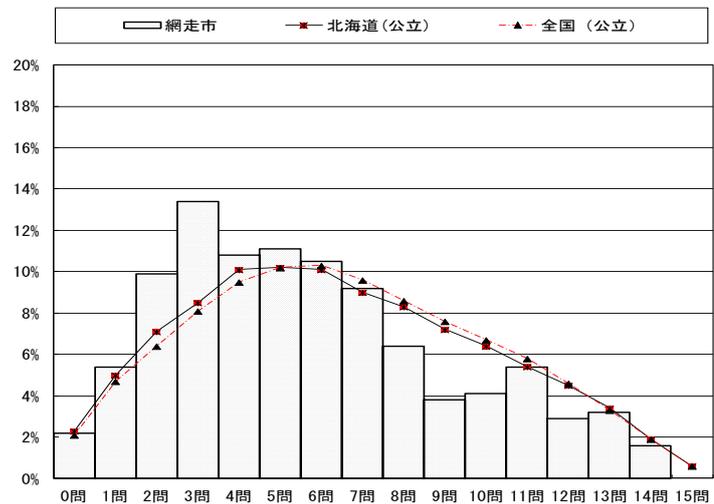
- ▲ **7(1)(3)** 三角形の合同条件を理解している  
命題の逆を理解している
- ▲ **9(3)** 具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している
- ▲ **10(1)** 一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している
- ▲ **13(2)** 簡単な場合について、確率を求めることができる

- ◎ **改善の方策** ◎
- ◆ 辺や角に着目し、三角形の合同条件を理解できるようにする
  - ◎ 2つの三角形についてどのような条件があればそれらが合同になるのかを考察する場面を設定する。
  - ◆ 反比例のグラフからxとyの関係を式で表すことができるようにする
  - ◎ グラフの特徴と式を関連付けて考察する場面を設定する。反比例のグラフにはx軸とy軸のそれぞれに限りなく近づくが交わらないという特徴があることを確認することも大切である。
  - ◆ 一次関数の表とグラフの特徴について、それらを関連付けて理解できるようにする
  - ◎ 一次関数の表からグラフの傾きや切片を読み取り、その符号や絶対値によって直線のグラフの傾き具合や、y軸との交点の座標を判断する活動を取り入れる。

## ○ 中学校数学B

【数学B】	平均 正答率	平均正答数 (15問中)
網走市	38.4	5.8問
北海道	43.3	6.5問
全国	44.1	6.6問

学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「数と式」が全国よりやや低い、「関数」が全国より低い、「資料の活用」「図形」が全国より相当低い。



### 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率 (%)				無解答率 (%)			
			数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方の能力	数学的な技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	
1(2)	葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる	○				○			25.8	-7.6	32.3	33.4	26.8	22.2	19.3
1(3)	1試合の時間を10分とすることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する	適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる	○					○		46.2	-5.2	48.2	51.4	3.2	3.7	2.3
2(1)	一次関数の表からx=4のときのyの値を求める	条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる		○				○		61.5	2.4	64.0	59.1	9.9	9.0	8.7
2(2)	x=4のときy=9になるように、xとyの間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる	○					○		12.7	-7.9	19.1	20.6	14.0	10.7	8.2
3(1)	A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、的確に処理することができる		○				○		60.2	-7.2	65.3	67.4	1.9	3.7	3.4
3(3)	A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	○					○		18.5	-11.8	27.4	30.3	19.1	15.9	12.1
4(1)	2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる	○					○		20.4	-9.0	29.4	29.4	30.3	25.7	22.3
5(1)	24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	○					○		36.6	-11.0	46.5	47.6	28.7	22.3	19.3
5(2)	25.5cmの靴が買し出された回数の相対度数を求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる		○				○		22.6	-8.5	29.2	31.1	43.0	36.2	33.5

### 【中学校数学Bのポイント】

- ▲ 2(2) 加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる
- ▲ 3(3) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
- ▲ 4(1) 筋道を立てて考え、証明することができる
- ▲ 5(1) 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
- ▲ 5(2) 与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる

### ◎ 改善の方策 ◎

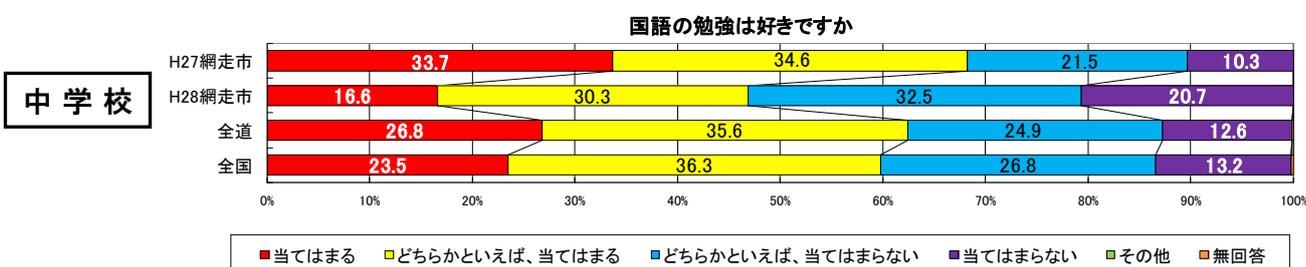
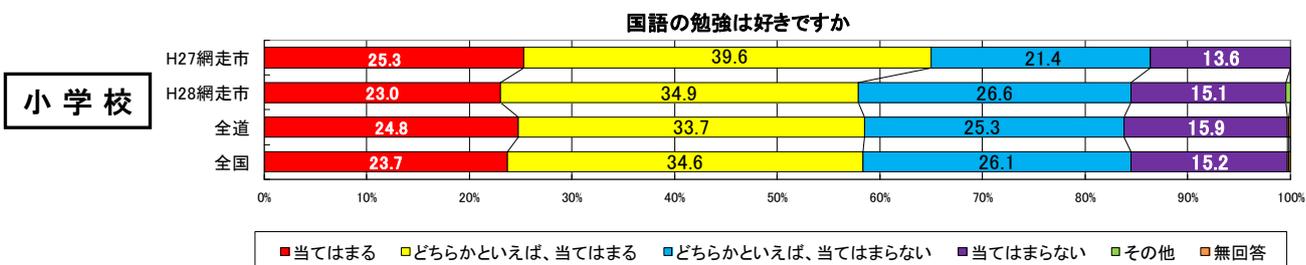
- ◆ 前提として必要な条件を判断し、それが適している理由を説明できるようにする
- ◎ 条件を付加する必要があるとき、付加する条件を判断し、それが適している理由を説明できるようにするために、条件が不足した問題について考察する場面を設定する。
- ◆ 問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする
- ◎ 様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、何をどのように用いればよいかを明らかにできるようにすることが大切である。
- ◆ 資料の傾向を的確に捉えて判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明できるようにする
- ◎ 資料の傾向を的確に捉えて判断できるようにするために、代表値を求めたり、資料の分布の様子を捉えたりする場面を設定する。資料の分布の特徴を捉えて説明すべき事柄とその根拠を明確にして説明できるようにすることが大切である。

## 4. 質問紙調査 【よい傾向は青数字、改善を要する傾向は赤数字】

### (1) <<学習（国語）に対する関心・意欲・態度>>

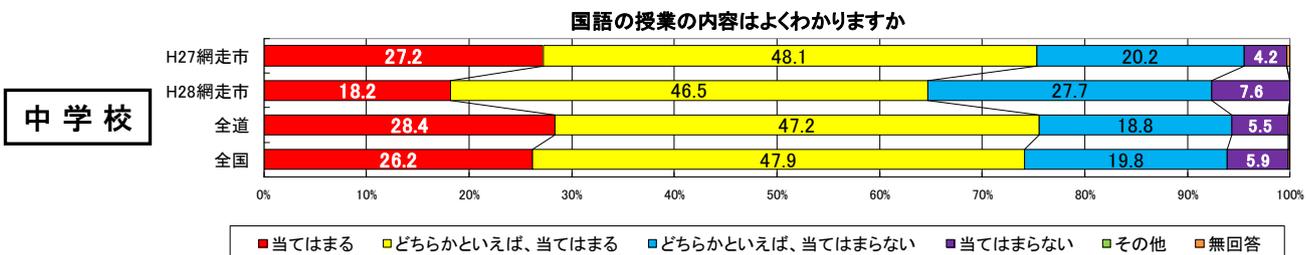
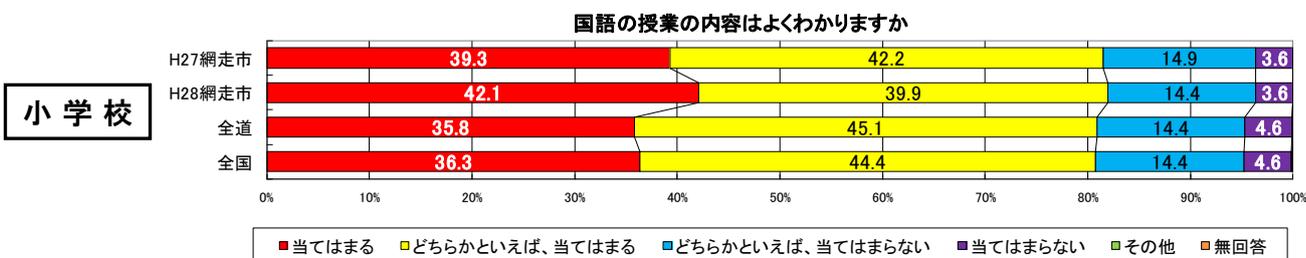
#### ○「国語の勉強は好きですか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校57.9ポイント、中学校46.9ポイントで、全国と比較し小学校で0.4ポイント、中学校で12.9ポイント低い。



#### ○「国語の授業の内容はよくわかりますか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校82.0ポイント、中学校64.7ポイントで、全国と比較し小学校で1.1ポイント高く、中学校で9.4ポイント低い。

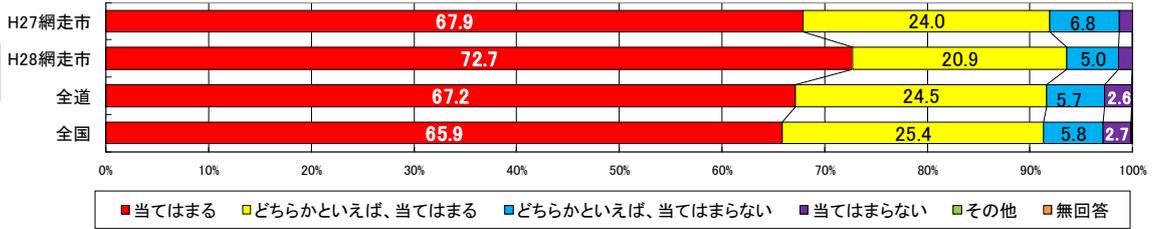


#### ○「国語の勉強は大切だと思いますか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校93.6ポイント、中学校83.2ポイントで、全国と比較し小学校で1.8ポイント高く、中学校で5.9ポイント低い。

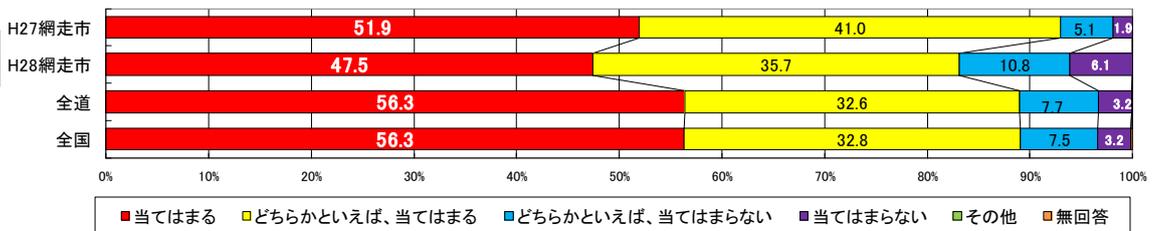
国語の勉強は大切だと思いますか

小学校



国語の勉強は大切だと思いますか

中学校



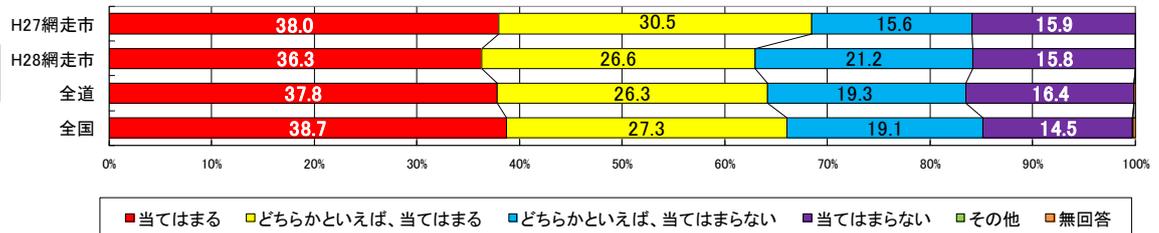
(2) <<学習(算数・数学)に対する関心・意欲・態度>>

○「算数・数学の勉強は好きですか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校62.9ポイント、中学校57.7ポイントで、全国と比較し小学校で3.1ポイント低く、中学校で1.7ポイント高い。

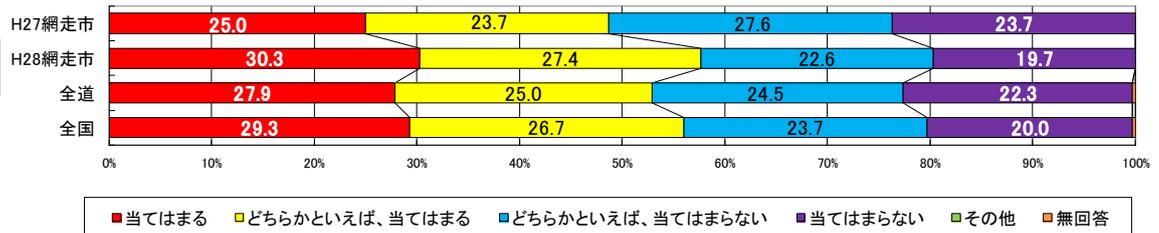
算数の勉強は好きですか

小学校



数学の勉強は好きですか

中学校

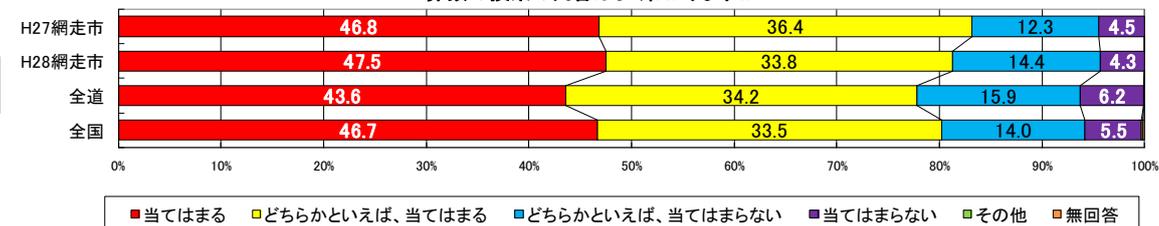


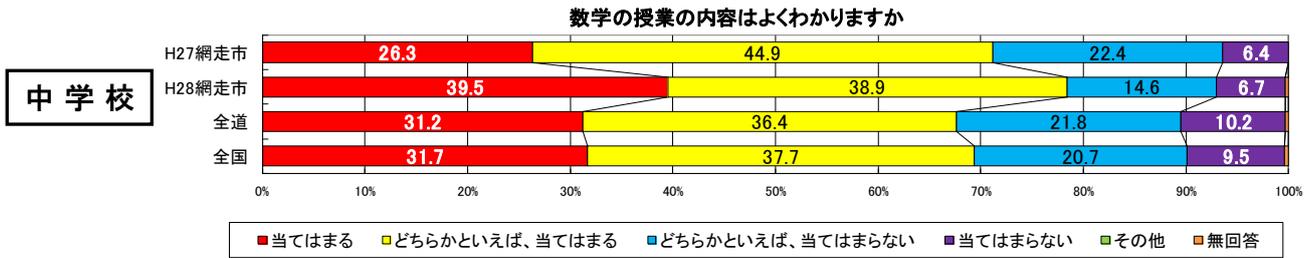
○「算数・数学の授業の内容はよくわかりますか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校81.3ポイント、中学校78.4ポイントで、全国と比較し小学校で1.1ポイント、中学校で9.0ポイント高い。

算数の授業の内容はよくわかりますか

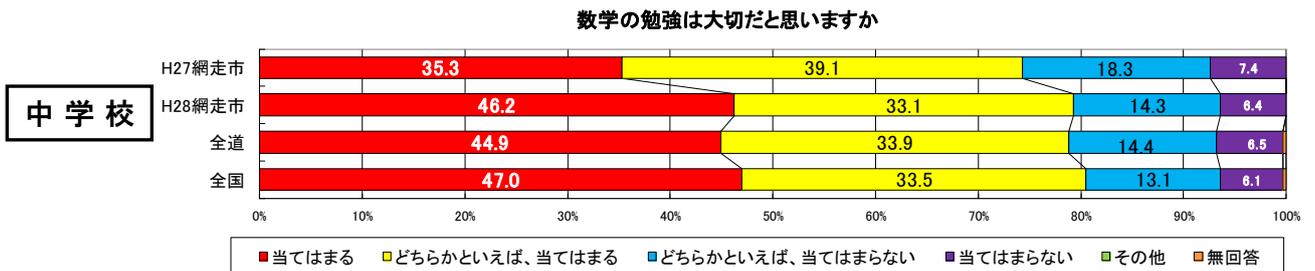
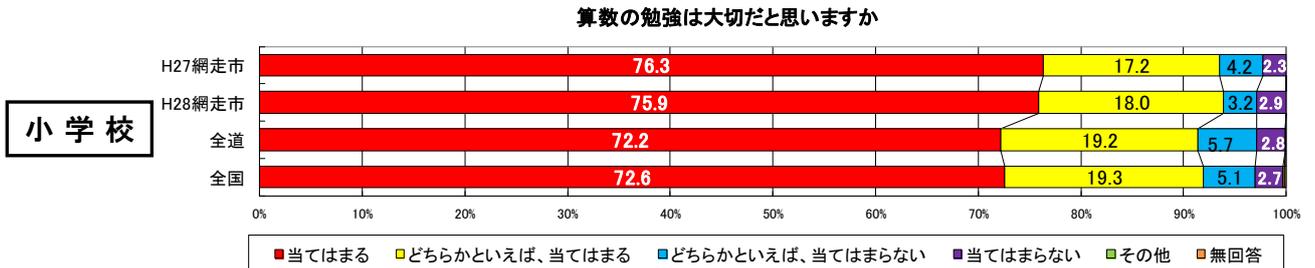
小学校





○「算数・数学の勉強は大切だと思いますか」

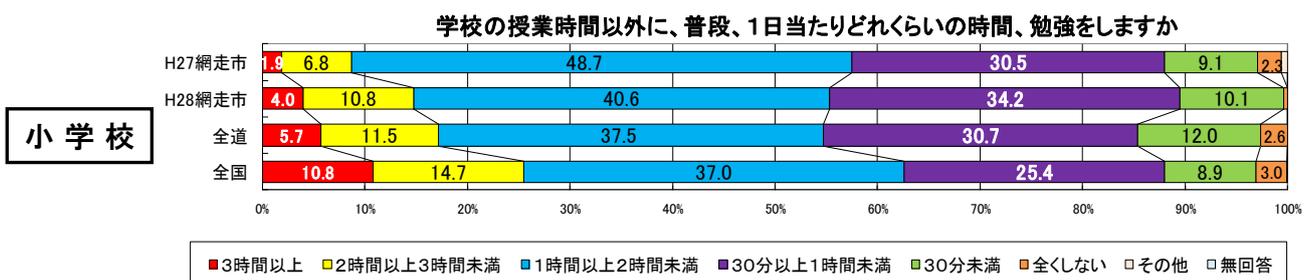
「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校93.9ポイント、中学校79.3ポイントで、全国と比較し小学校で2.0ポイント高く、中学校で1.2ポイント低い。



(3) 《家庭での学習習慣》

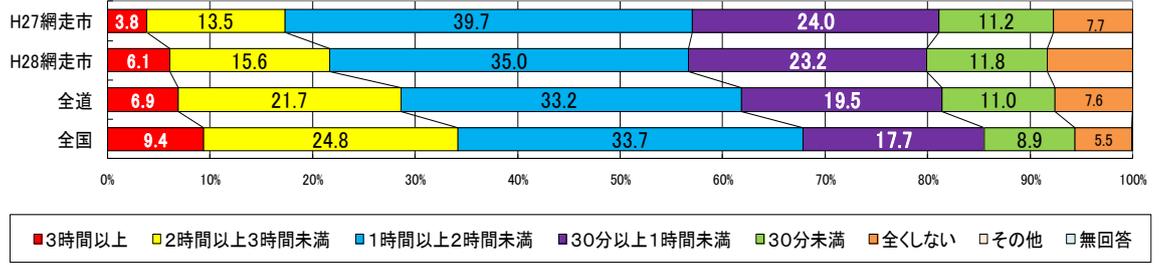
- 「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強している」は、小学校、中学校ともに全国より低い傾向を示している。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強している」は、小学校、中学校ともに全国よりやや高い傾向を示している。
- 「家で、学校の宿題をしている」は、小学校、中学校ともに全国よりやや高い傾向を示している。

○「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」



学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

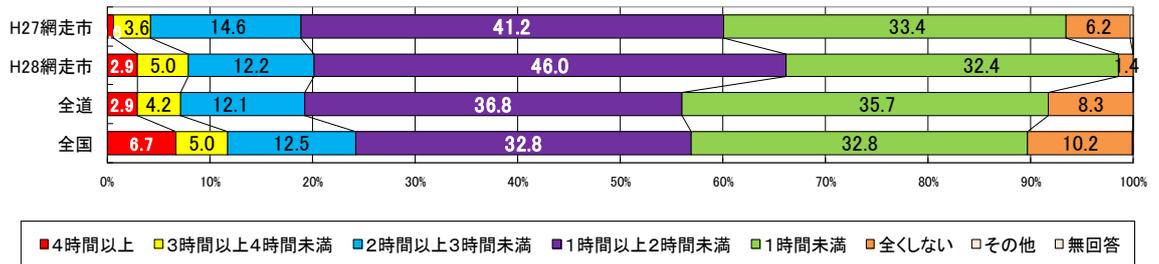
中学校



○「休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」

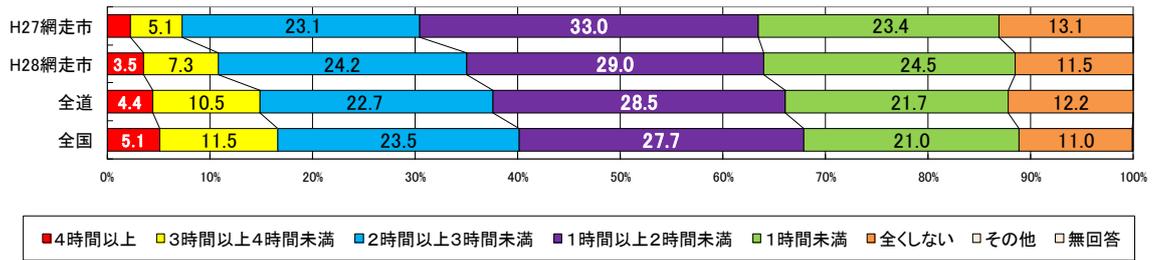
小学校

休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



中学校

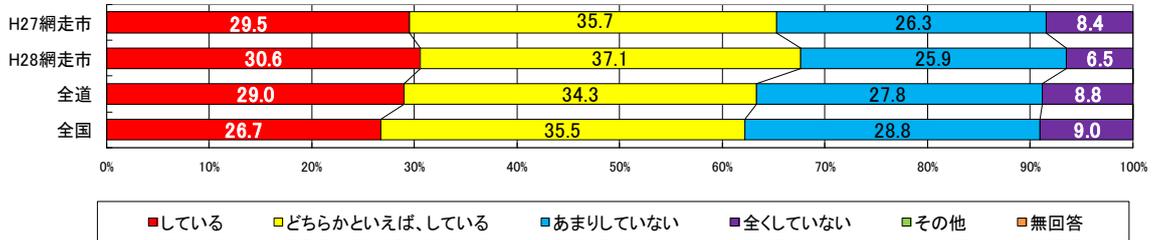
休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



○「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」

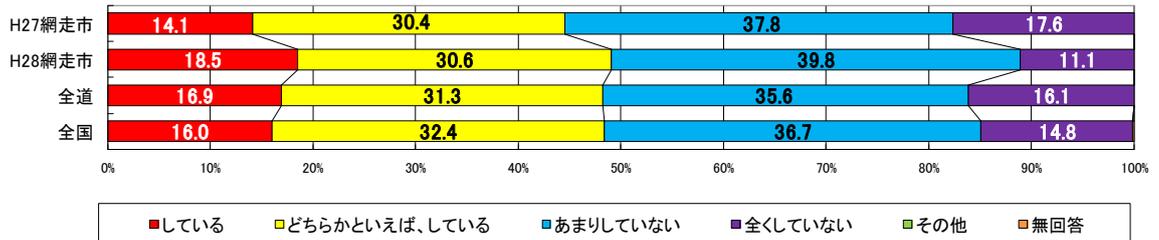
小学校

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

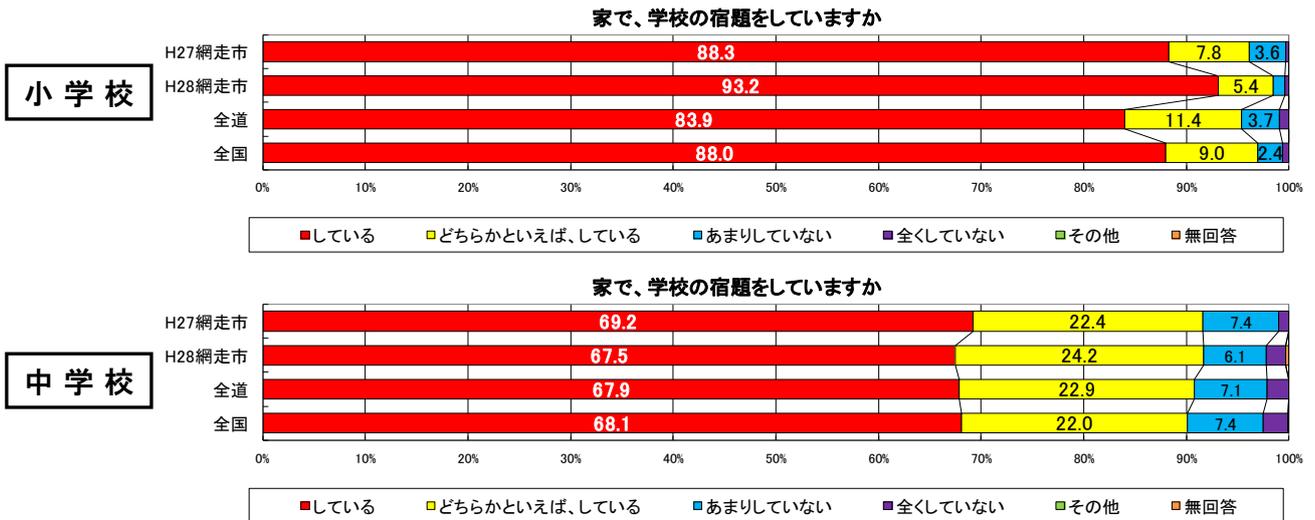


中学校

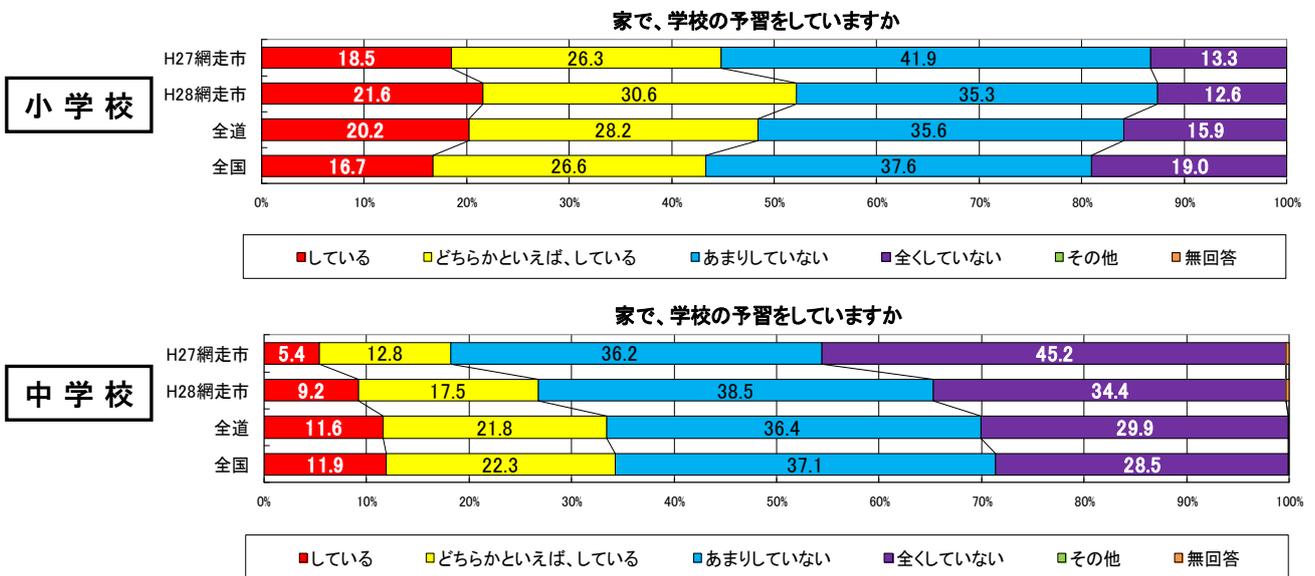
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



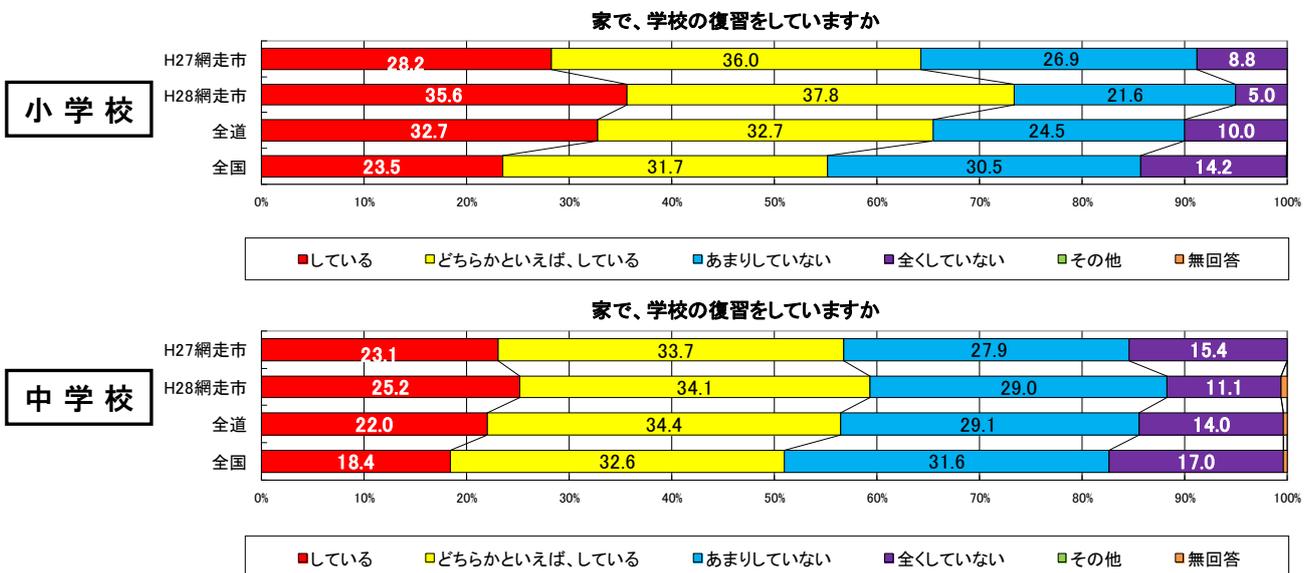
## ○「家で、学校の宿題をしていますか」



## ○「家で、学校の予習をしていますか」



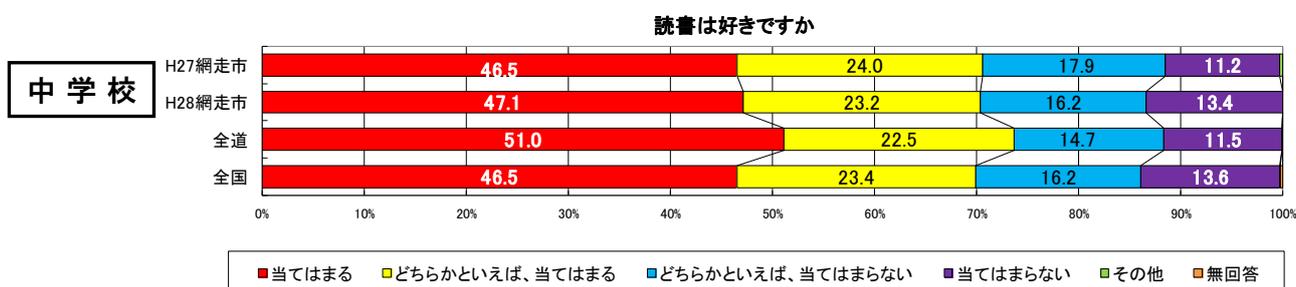
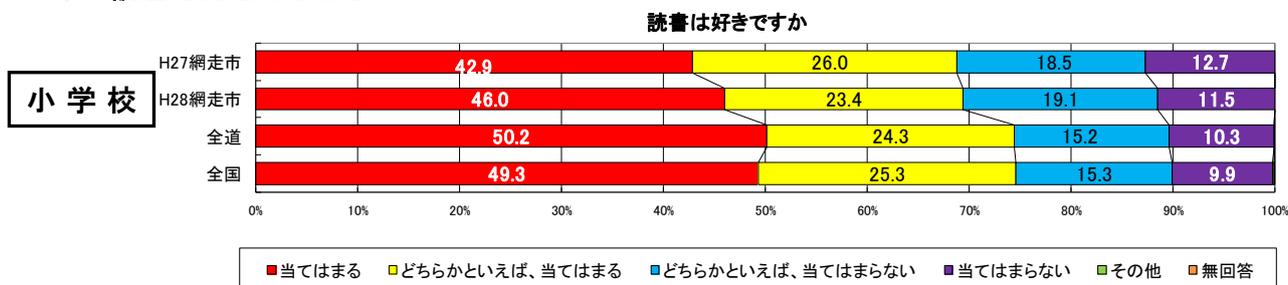
## ○「家で、学校の復習をしていますか」



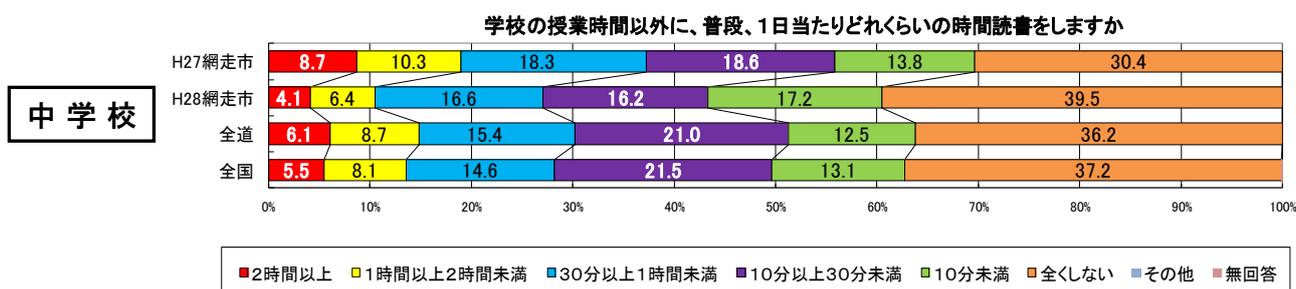
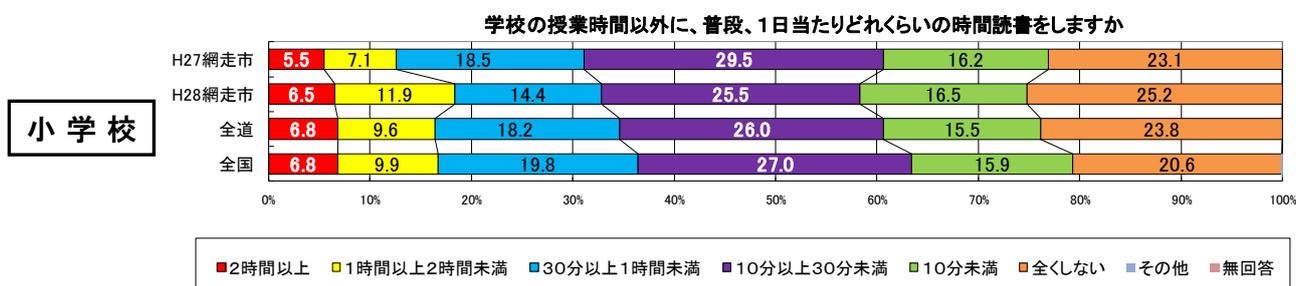
#### (4) <<読書習慣>>

- 「読書が好き」は、小学校で全国よりやや低く、中学校で全国とほぼ同様の傾向を示している。
- 「学校の授業時間以外で読書をする時間」は、小学校、中学校ともに全国よりやや低い傾向を示している。

#### ○「読書は好きですか」



#### ○「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか」



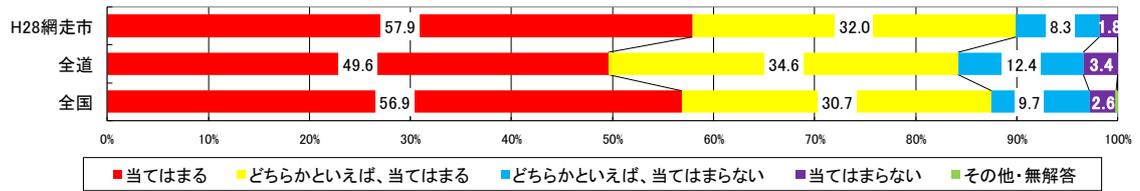
#### (5) <<学習指導>>

- 「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」は、小学校で全国と同様、中学校で全国より低い傾向を示している。
- 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」は、小学校で全国よりやや高く、中学校で全国より低い傾向を示している。
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」は、小学校で全国よりやや高く、中学校で全国よりやや低い傾向を示している。

## ○「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」

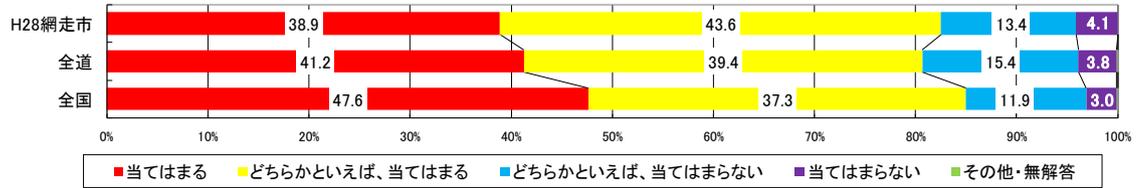
5年生までに受けた授業では、授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

小学校



1, 2年生の時に受けた授業では、授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

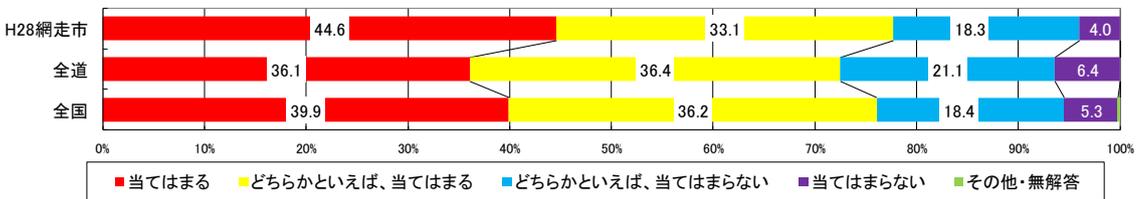
中学校



## ○「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」

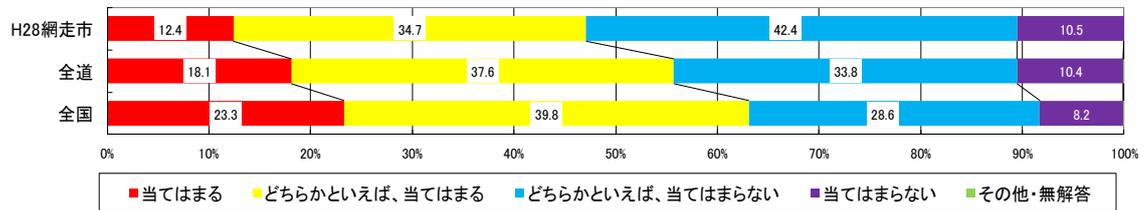
5年生までに受けた授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

小学校



1, 2年生の時に受けた授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

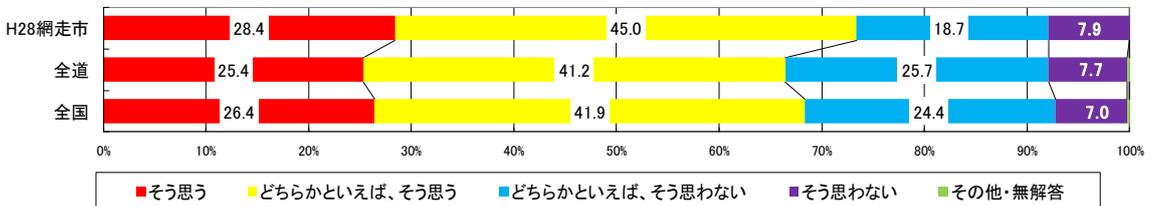
中学校



## ○「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

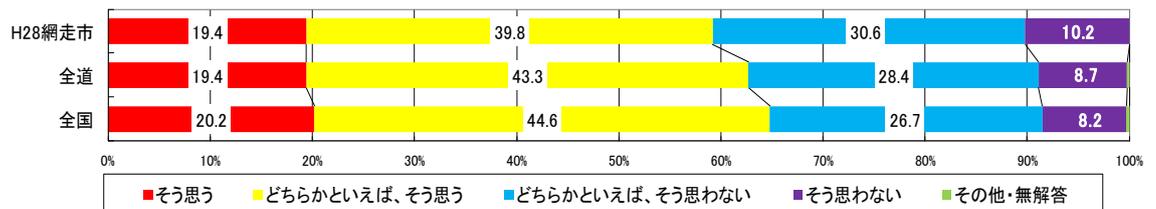
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

小学校



生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

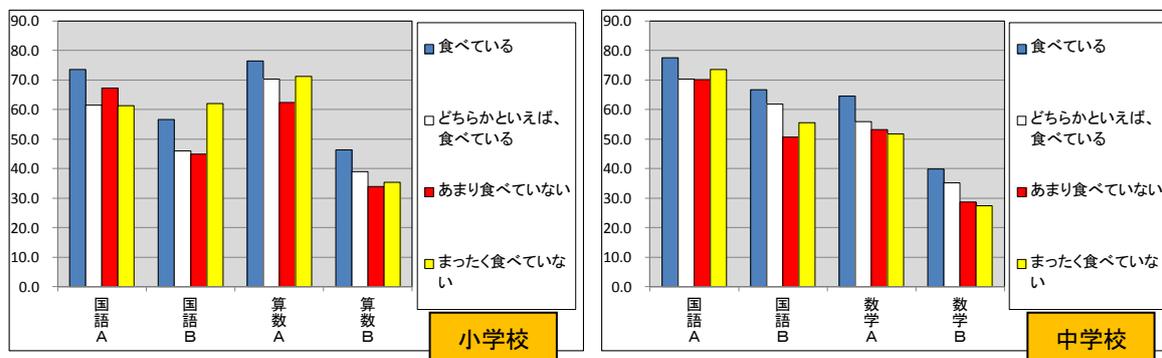
中学校



## 5. 質問紙調査と平均正答率の相関

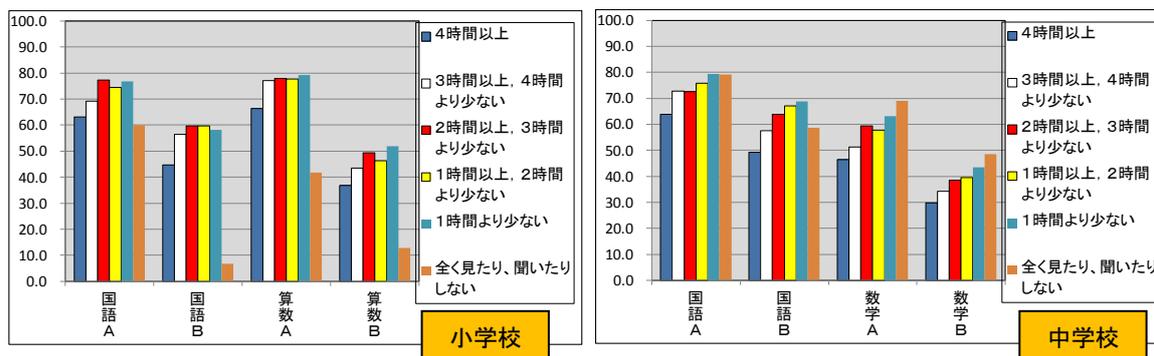
### (1) 「朝食を毎日食べている」と正答率の相関

「食べている」「どちらかといえば、食べている」と回答している児童生徒の方が「あまり食べていない」「まったく食べていない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率は高い傾向にある。



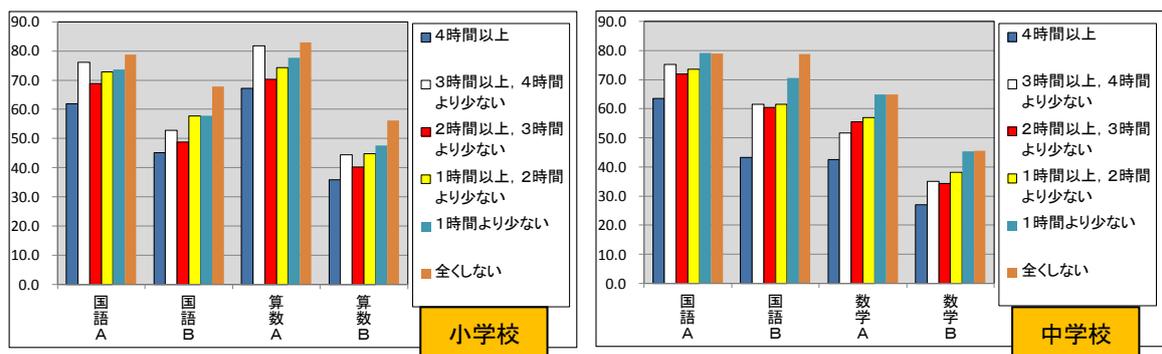
### (2) 「普段（月～金曜日）1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間」と正答率の相関

「テレビ等を視聴する時間が短い」児童生徒は、「テレビ等を視聴する時間が長い」児童生徒に比べ、平均正答率は高い傾向にある。



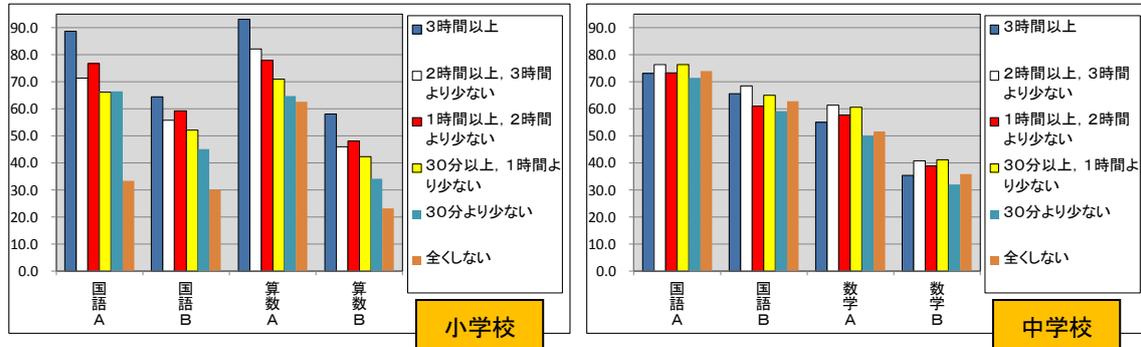
### (3) 「普段（月～金曜日）1日当たりのテレビゲームをする時間」と正答率の相関

「ゲームをする時間が短い」児童生徒の方が、「ゲームをする時間が長い」児童生徒に比べ、平均正答率は高い傾向にある。



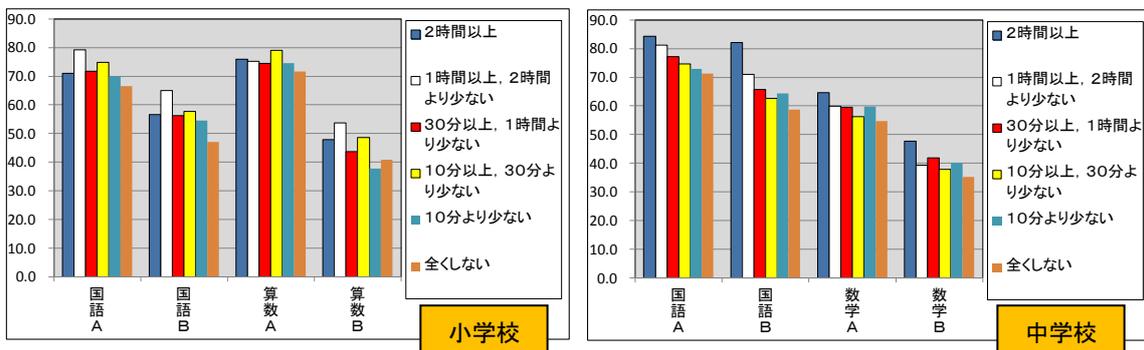
(4) 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしているか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」と正答率の相関

「学校の授業時間以外に勉強をする時間が長い」児童生徒の方が、「学校の授業時間以外に勉強をする時間が短い」児童生徒に比べ、正答率が高い傾向にある。



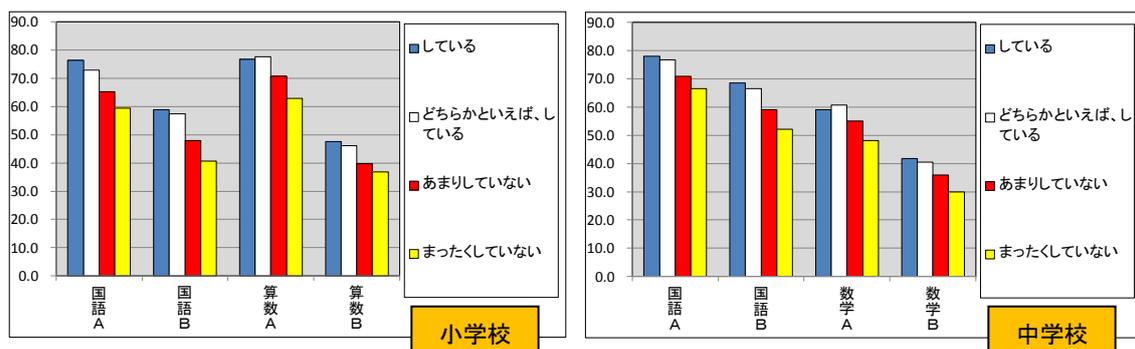
(5) 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれぐらいの時間、読書をしているか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」と正答率の相関

「読書をする時間が長い」児童生徒は、「読書をする時間が短い」児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



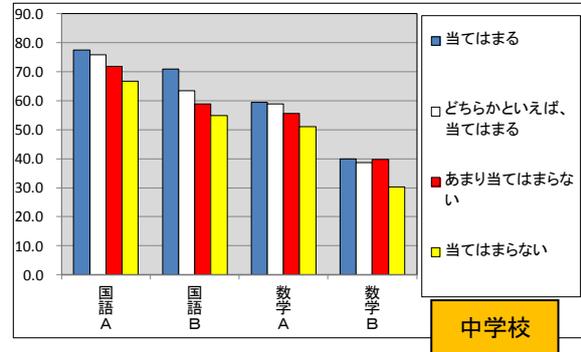
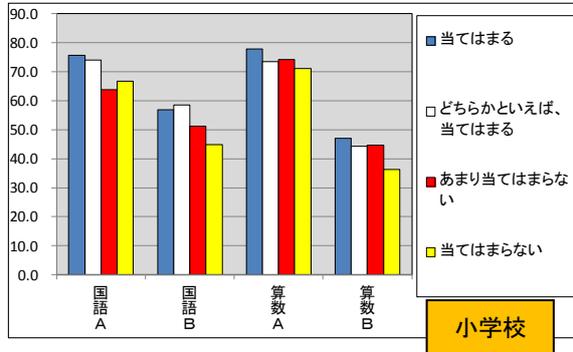
(6) 「家で、学校の授業の復習をしている」と正答率の相関

「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒は、「あまりしていない」「全くしていない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



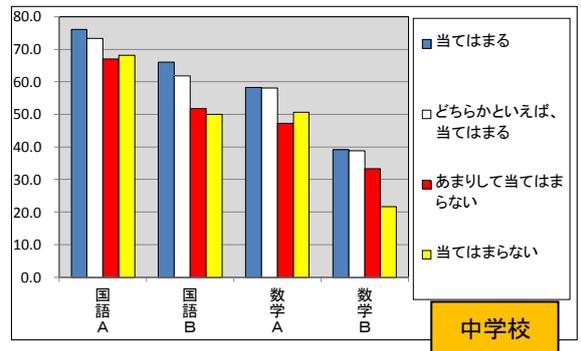
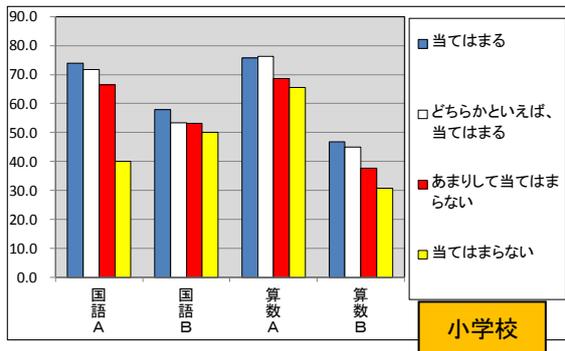
(7) 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「あまりあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率は高い傾向にある。



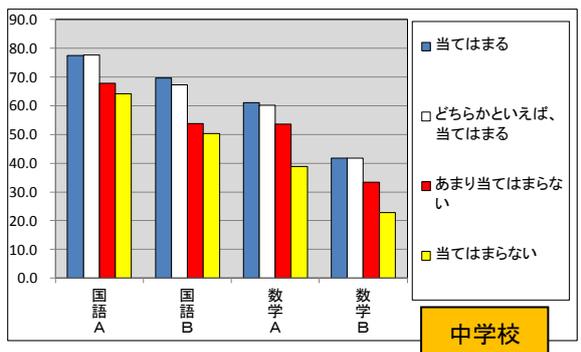
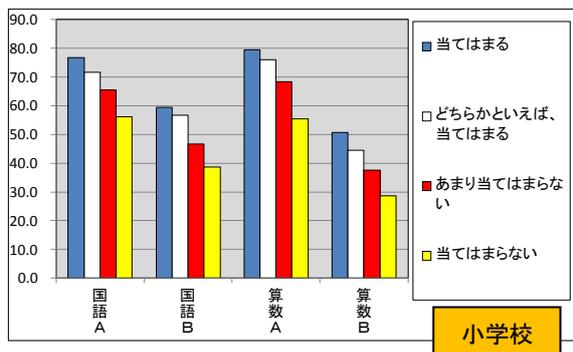
(8) 『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「あまりあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率は高い傾向にある。



(9) 「きまり（規則）を守っている」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「あまりあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率は高い傾向にある。



## 6. 調査での課題と改善のポイント

### (1) 学校での組織的な取組〔▲調査の中での課題 ◆改善のポイント〕

<p>【学習状況調査の結果から】</p> <p>▲教科によって差異はあるが、全国下位25%に含まれる網走市の児童生徒の割合が全国に比べ高い。(小・中学校)</p> <p>▲国語と比べ、算数の正答率が全国に比べ低い傾向がある。(小・中学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個々の学習の状況を把握し、少人数指導、習熟度別学習などによりきめ細かな指導を行う。</li> <li>◆必要に応じて長期休業中、放課後などに個別の補充学習を行ったり、朝学習の時間を設定したりするなど、基礎基本の定着を図る。</li> <li>◆個々の学習状況に応じて、発展的な問題にも積極的に取り組ませる。</li> <li>◆授業の中に、学習のめあてを示したり、まとめたりする学習活動を確実に位置付ける。</li> <li>◆授業や特別活動の中で、自分の考えを深めたり広げたりさせることを意図した話し合い活動を設定する。</li> <li>◆授業の中で、目的や相手を意識した発表の機会を意図的に設定する。</li> <li>◆話し方、聞き方の学習の決まりの定着を図る。</li> <li>◆授業の中で、自分の考えを書く活動を意図的に設定するとともに、ノートの使い方など学校全体で統一する。</li> </ul>
<p>【学校質問紙調査の結果から】</p> <p>▲授業の終わりに振り返る活動を取り入れている割合が低い。(中学校)</p> <p>▲学級やグループで話し合う活動を授業で「よく行った」割合が低い。(小・中学校)</p> <p>▲発展的な指導をしている割合が低い。(小・中学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆低学年から本に触れる機会が多く設定されるよう読書指導に関わり全体計画(カリキュラム)を作成する。</li> <li>◆朝読書など、全校一斉読書の時間を設定することにより、読書の機会を設ける。</li> </ul>
<p>【児童生徒質問紙調査から】</p> <p>▲読書が好きという児童の割合が低い。(小学校)</p> <p>▲授業時間以外に、普段1日当たり読書をする時間が少ない。(小・中学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳教育、特別活動(学校行事)やキャリア教育の充実をはかり、規範意識や自尊意識の向上を図るとともに、物事をやり抜くことで達成感や満足感を味わわせる。</li> <li>◆できた、わかった喜びを味わわせる指導の工夫を図る。</li> </ul>
<p>【児童生徒質問紙調査から】</p> <p>▲学校のきまり(規則)を守っていると思う児童生徒の割合が低い。(小・中学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆家で学校の宿題をしている児童生徒の割合が高いことから、宿題を出すことで、基礎基本となる事項の定着を図るとともに、自ら課題も持って取り組む家庭学習を充実させる。</li> <li>◆生活リズムチェックシートを活用するなど、1日の学習時間を継続して記録し、意識化を図る</li> <li>◆家庭学習の与え方について教職員で共通理解を図るとともに、学習の方法等について具体的な例を挙げながら指導を行う。</li> </ul>
<p>【児童生徒質問紙調査から】</p> <p>▲1日当たり、1時間以上勉強する児童生徒の割合が低い。(小・中学校)</p>	
<p>【学校質問紙調査から】</p> <p>▲家庭での学習方法等について具体的な例を挙げながら指導した学校が少ない。(小・中学校)</p>	

## (2) 家庭での取組

【児童生徒質問紙調査から】

- ▲1日当たり、1時間以上勉強する児童生徒の割合が少ない。(小・中学校)
- ▲「1日に2時間以上ゲームをする」「1日に2時間以上携帯電話やスマートフォンをする」児童生徒の割合が高い。(小・中学校)
- ▲授業時間以外に、普段1日当たり読書をする時間が少ない。(小・中学校)
- ▲地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある、地域のボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合が低い。(小・中学校)
- ▲学校のきまり(規則)を守っていると思う児童生徒の割合が低い。(小・中学校)

### ①こどもの生活リズムを整えましょう

- 生活リズムチェックシートを活用し、子どもが自ら生活を記録する習慣化を図りましょう。
- 朝起きる時間、夜寝る時間が不規則にならないようにしましょう。朝ごはんは、しっかり食べてきましょう。(早寝早起き朝ごはん)

### ②家庭でのルールや目安を決め、しっかり守るよう子どもと約束をしましょう。

- 家庭学習は、1日【小学校】学年×10分+10分、【中学校】学年×1時間+10分を目標に取り組みましょう。
- テレビ、DVD、ビデオの視聴時間、テレビゲーム(携帯式ゲーム)の時間を少なくしましょう。
- 家庭で読書をする時間を設けましょう。
- 携帯電話(スマートフォン)、SNS、メール、インターネットなど、使用できる時間などきまりを設けましょう。

### ③家の中に、勉強ができる環境を作りましょう。

- 新聞やニュースを見る、地図や地球儀を身近に準備するなど、社会に興味を持たせるような準備をしましょう。

### ④学校での出来事について話を聞く時間を作りましょう。励ましやほめることを大切にしましょう。

### ⑤地域の行事へ参加させたり、図書館、社会教育施設を積極的に活用させたり、網走のよさにふれる時間をつくりましょう。

## ■ 全国より高い傾向を示した項目 ■

- ◎ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。(小・中学校)
- ◎自分には、よいところがあると思う。(小学校)※中学校は全国とほぼ同様
- ◎将来の夢や目標を持っている。(中学校)※小学校は全国とほぼ同様
- ◎学校に行くのは楽しいと思う。(小学校)※中学校は全国とほぼ同様
- ◎学校で、友達に会うのは楽しいと思う。(小・中学校)
- ◎学校で、好きな授業がある。(小学校)※中学校は全国とほぼ同様
- ◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。(小学校)
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。(中学校)
- ◎授業の中で分からないことがあったら、先生に尋ねる。(小・中学校)

### (3) 網走市教育委員会における学力向上の方策

この方策は、これまで網走市教育委員会が取り組んできたものをさらに推進・拡充させていくものと、新たに取り組むものです。

#### 1 教職員の高い指導力を備えるための研究・研修の充実を図ります。

- (1) 北海道立教育研究所や網走地方教育研修センター等の受講促進、先進地視察研修、公開研究会への参加、オホーツク管内教育研究団体への加入の促進を図ります。
- (2) 市内すべての学校で公開研究会を実施するとともに網走市学校教育研究実践事業により公開研究会の開催を支援します。
- (3) 教職員の授業力向上のため、北海道教育庁指導主事の学校教育指導を複数回要請し、特設授業や研究協議の充実を図ります。
- (4) 網走市教育委員会主催の初任者研修、主幹教諭研修、体育実技研修、ICT活用研修、いじめ未然防止研修などを開催し、教職員の指導力向上を図ります。
- (5) 「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校、近隣実践校の取組を支援するとともに、効果のある実践指定校の取組を普及させ、教職員の資質の向上を図ります。

#### 2 子どもの学びを支える教育環境の整備を図ります。

- (1) 学ぶ意欲を高めるタブレット型端末や子どもにより分かりやすく伝える実物投影機など、ICT機器活用をより一層促進するとともに、ICT機器活用に関わる研修会を開催します。
- (2) 学校図書司書の配置や学校図書の整備など、図書館機能の充実を図ります。

#### 3 子どもたちに自ら学ぶ意欲をはぐくみ、確かな学力の定着を図ります。

- (1) 子どもたちに基礎的・基本的な学力の定着を図るため、長期休業中や放課後の補充学習の充実、少人数指導や習熟度別学習、学習支援員などによる、きめ細かな学習を推進します。
- (2) 子どもたち一人一人の理解を深めるため、学力状況を把握する標準学力検査や、学校での適応感を把握する検査の活用を促進します。
- (3) 「網走市学力向上フォーラム」の開催や、「全校共通指導事項」の設定、先進地への視察研修など、網走市学力向上推進委員会の活動を支援します。
- (4) 家庭での学習習慣確立のために、学校・家庭・地域が連携し、家庭学習の習慣化やテレビ・ゲームの時間の見直しなど、「生活リズムチェックシート」の積極的な活用を図ります。
- (5) 小学校から中学校への円滑な接続、中1ギャップ未然防止のために、中学校校区を中心とした小中連携を推進します。
- (6) 東京農業大学との連携による、「長期休業中の学習サポート」「土曜学習サポート（あばしり寺子屋）」を推進します。

#### 4 学力の基礎となる体力向上を図ります。

- (1) 心身ともに健康な子どもを育成するために、保護者、地域とともに、「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活習慣の定着、運動に慣れ親しむ機会を作るなど体力向上の取組を推進します。
- (2) スポーツ合宿団体によるラグビー教室など、スポーツ教室を開催します。また他、教育長杯ラグビー大会やオホーツク網走マラソンなどの各種スポーツ大会への参加促進を図ります。
- (3) 「目標」と「振り返り」を設定すること、1時間の授業の中でできるだけ運動する時間を確保すること、互いに教え合う活動を取り入れることなど、楽しく達成感が味わえる体育の授業の充実を図ります。
- (4) 日本体育大学との連携による、「子ども体力づくりサポート」を推進します。

#### 5 特別支援教育の充実を図ります。

- (1) 特別支援教育支援員などの人的支援の充実や関係機関との連携を図ります。
- (2) 教職員や保護者の特別支援に対する理解を深めるため、研修会の実施、教育相談体制の充実を図ります。

#### 6 思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育みます。

- (1) 道徳教育推進校への支援、教育講演会の開催など、道徳教育の充実を図ります。
- (2) 地域・保護者への積極的な道徳の時間の公開と、「網走市こども会議」の開催などにより、心の教育を推進します。
- (3) 地域に対する愛着や関心を高めるために、地域を素材とした総合的な学習の時間、ふるさと教育、食育などの充実を図ります。
- (4) 「網走市読書感想文コンクール」の実施、家読（うちどく）や朝読書の充実、読み聞かせなどによる良書との出会い、市立図書館による「読書ノート」の積極的な活用により読書の充実を図ります。

#### 7 地域、保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを目指します。

- (1) 地域、保護者に開かれた学校を目指し、「オープンスクールウィーク」の実施や「網走市学校支援地域本部事業」によるボランティアの活用、学校ホームページの作成など、地域、保護者との連携を図ります。
- (2) 心身ともに健やかな子どもを育成するために、網走市PTA連合会と連携し、講演会、研修会を開催します。